

平素より私ども中国銀行をご利用お引き立ていただき、厚くお礼申し上げます。

平成29年度の国内経済は、堅調な海外経済を背景として、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資にも改善が見られ、また雇用環境も堅調に推移し、緩やかな回復基調が続きました。米国の保護主義的な通商政策による海外経済への影響や、為替相場の動向などの懸念材料はあるものの、今後も企業の好業績を背景とした前向きな設備投資や、雇用・所得環境の改善が続くと見られており、民需を中心としたさらなる景気回復が期待されます。

地元経済においても、完成車メーカーの生産停止による影響の一巡やアジア経済の回復などから、総じて生産活動は持ち直し、輸出が増加基調となるとともに、個人消費、設備投資についても堅調に推移し、景気は緩やかに回復する状況となりました。

以上のような事業環境の中、当行では平成29年度からスタートした期間10年の経営計画『Vision 2027「未来共創プラン」』で策定した以下の4つの主要戦略に取り組んでまいりました。

- ① 提供するサービスの質の向上
 - ② サービスを提供する機会の拡大
 - ③ サービスを提供するための体力の強化
 - ④ 一人ひとりの心の変革と組織風土改革
- 当期における主な活動成果は後記のとおりです。

株主のみなさまに対しましては、当行普通株式1株につき配当金10円(中間配当金を含めた当事業年度の年間配当金は20円)とさせていただきます。

金融経済環境につきましては、域内人口減少に加え、マイナス金利導入以降の金利低下、ならびに異業種からの銀行業務参入など、厳しい経営環境が続くものと想定されます。

こうした環境下において、当行が地域のお客さまをはじめ、ステークホルダーの方々から選ばれ信頼され続けるためには、さらなるサービスの向上に向けた構造改革を進めていく必要があると考えております。

そのため、『Vision2027「未来共創プラン」』の長期ビジョンである「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来の共創」の実現に向けて、お客さまと共に相互に発展するビジネスモデルを確立すべく職員一丸となって取り組んでまいります。



平成30年6月
取締役頭取 宮長 雅人